

幹 事 会 議 事 録

平成 28 年度 SGST 第 1 回幹事会 議事録

日時 : 平成 28 年 4 月 28 日(木) 14:45~15:15

場所 : 名城大学 天白キャンパス 研究実験棟Ⅱ 多目的室

出席者 : 館石(名大), 松村・櫻井(瀧上), 川瀬(日中 C), 加藤(中日本 H), 海老澤(名工大),
川西(豊田高専), 木下(岐阜大), 渡辺(名城大), 岡本(橋梁調査会)

以上 10 名(敬称略)

<幹事会議事内容>

1. 幹事について

- ・代表 館石 和雄 名古屋大学 大学院 工学研究科 社会基盤工学専攻
- ・幹事長 松村 寿男 瀧上工業(株)技術開発グループ
- ・事務局担当 櫻井 勇太 瀧上工業(株)技術開発グループ
- ・会計担当 川瀬 瞳 日中コンサルタント(株) 名古屋支店
- ・企画担当 長瀬 雅司 日本車輛製造(株) 輸機・インフラ本部 品質保証部 品証二課
- ・HP 担当 加藤 正実 中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋(株)技術開発部
- ・研究会担当 海老澤健正 名古屋工業大学 社会工学科
川西 直樹 豊田工業高等専門学校 環境都市工学科
北根 安雄 名古屋大学 大学院工学研究科 社会基盤工学専攻
木下 幸治 岐阜大学 工学部 社会基盤工学科
鈴木 森晶 愛知工業大学 工学部 土木工学科
渡辺 孝一 名城大学 理工学部 社会基盤デザイン工学科
- ・会計監査 川西 直樹 豊田工業高等専門学校 環境都市工学科

2. 平成 27 年度会計報告

- ・SGST 本会
- ・LRFR 研究委員会
- ・最新技術・情報調査研究委員会

3. 建設系 CPD 協議会への掲載について

土木学会 CPD 認定のために建設系 CPD 協議会へ掲載する要望(坂井田会員より)について、前回幹事会において掲載手数料(3,000/回)が発生するため、土木学会を利用している会員が複数確認された場合は対応するという方針となった。

後日、会員に CPD の利用有無および加盟団体をアンケートしたところ、土木学会を利用されている会員は 1 名であったが、他加盟団体に所属されている会員からユニットが半減される場合があることや、申請から承認までに時間がかかっているとの情報があった。

これらより、建設系 CPD 協議会への掲載は、土木学会以外にも他加盟団体に所属されている会員にもメリットがあることから、今回の定期研究会より掲載の申請を行った。反対意見がなければ、次回以降も建設系 CPD 協議会への掲載を継続する。

⇒反対意見なし。今後の定期研究会についても建設系 CPD 協会への掲載を継続する。

4. 平成 27 年度活動報告集について

活動報告集は DISC で会員に手渡し（欠席者には送付）することを確認する。
他団体、研究会への送付先を確認する。

- ・ 一般社団法人 日本橋梁建設協会
- ・ 公益社団法人 土木学会
- ・ 国立研究開発法人 土木研究所
- ・ 関西道路研究会
- ・ 九州橋梁・構造工学研究会
- ・ 鋼橋技術研究会
- ・ 鋼橋マネジメント研究会（新規）

5. 平成 28 年度 SGST 活動計画

・ 第 2 回定期研究会

日時：6 月 29 日(水)16：00～

場所：名城大学 天白校舎 研究室実験棟Ⅱ 多目的室

研究会担当幹事：鈴木先生

講演内容：未定

講演者：野中教授（名古屋工業大学）、宗本 理先生（愛知工業大学）

・ 第 3 回定期研究会

日時：8 月 19 日(金)(第 1 希望)or26 日(金)(第 2 希望)【シンポジウム※】

詳細：上記の通り

・ 第 4 回定期研究会

日時：10 月 21 日(金)16：00～

場所：名城大学 天白校舎 研究室実験棟Ⅱ 多目的室

研究会担当幹事：渡辺先生

講演内容：未定

・ 第 5 回定期研究会

日時：12 月 12 日(月)16：00～

場所：名城大学 天白校舎 研究室実験棟Ⅱ 多目的室

研究会担当幹事：川西先生

講演内容：未定

忘年会：場所未定

・ 第 6 回定期研究会

日時：2 月 24 日(金)16：00～

場所：名城大学 天白校舎 研究室実験棟Ⅱ 多目的室

研究会担当幹事：北根先生

講演内容：未定

6. 新規会員の紹介

1) 特別会員

- ・(株)デンソー（特別会員代表：前川様）
- ・(株)デーロス・ジャパン（特別会員代表：宮崎様）

2) 正会員

- ・鎌田 裕一様（(一財) 橋梁調査会）
- ・岡田 武久様（国交省 中部地方整備局）
- ・花輪 務様（日本鉄塔工業(株)）
- ・嶋口 儀之様（愛知工業大学）
- ・山辺 一正様（徳倉建設(株)）

7. 平成 28 年度総会式次第 15：30～16：00（下線部：承認審議事項）

- ・代表挨拶（館石先生）
- ・本会活動報告（H28/2/19 現場見学会含む）
- ・各研究委員会活動報告（継続）、会計報告（7.5 分程度／委員会）
- ・総括会計報告
- ・幹事案、紹介
- ・定期研究会スケジュール案
- ・活動計画（シンポジウムについて、定期研究会・研究委員会新規立ち上げ募集案内）

8. シンポジウムについて

木下先生より 8 月開催予定のシンポジウムについて企画内容をご説明頂いた。

- ・毎年開催するのか。→ 毎年ではない。
- ・学生の論文投函について、どの学生でも投函できるようにするのか。
→ 基本的に **SGST** 関係者の紹介が必要。
- ・論文の投函が想定より多かった場合、発表する会場はどうするか。
→ 複数会場で同時開催する。
- ・論文原稿執筆要領について若手向けにしては少し硬い印象を受ける。もう少しゆるくできないか。
→ 検討する。
- ・投函期限は？
→ 当日論文集を配布するために、およそ 1 ヶ月の印刷期間を見込んで 7 月初旬頃。
- ・学生に対して論文に投函する魅力をダイレクトに伝える文言が必要。（他との違いなど）
投函数が少ないからといって学生に無理に書かせることはしたくない。
- ・若手技術者講演論文の表彰式はいつやるのか。
→ 閉会式の前（もう少し調整する）。
- ・ニューブリッジでドローンを飛ばすことやロープワークをするのはどうか。
→ ドローンを飛ばすことは問題ないが、ロープワークのためにアンカーを打つのは、協議が必要。
- ・参加対象は **SGST** 会員のみか。
→ 会員限定ではない。会費については、別途検討する。

- ・熊本大学 葛西先生は、熊本地震の影響で講演の可否について保留とする。
⇒午前中のイベントについては、もう少し揉む必要がある。
午後のシンポジウムについては問題ない。
⇒後日館石代表と実行メンバーで詳細について打ち合わせをする。

9. H28 年度 第 1 回定期研究会について

講演内容：「京コンピュータを用いた大規模地震応答解析 -構造物から都市まで-」

講演者：市村^{いちむら}准教授（東京大学地震研究所）

講演会場：名城大学 研究実験棟Ⅱ 多目的室

懇親会：馳走屋てんごく名駅店 18：30～

以 上

平成 28 年度 SGST 総会 議事録

日時 : 平成 28 年 4 月 28 日(木) 15:30~16:00

場所 : 名城大学 天白キャンパス 研究実験棟Ⅱ 多目的室

出席者: 相澤, 内山(宗), 藤井, 瀧上【パルステック】, 青嵐【中部復建】, 安藤(弘)【日本工営】, 安藤(浩), 飯田, 伊藤(眞), 鎌田, 河本, 櫻井, 高地, 松村【瀧上】, 宮本【ショーボンド】, 伊藤(文)【名高速】, 井上【東京鐵骨】, 入山【中日本C】, 内山(真), 大橋【オリエンタルC】, 海老澤【名工大】, 岡田【中部地整】, 岡本(利)【橋梁調査会】, 小塩, 葛, 久保, 渡辺【名城大】, 加藤(正), 山田(健)【中日本H】, 川瀬, 王【日中C】, 川西【豊田高専】, 木下【岐阜大】, 小枝【川田工業】, 坂井田【大日C】, 清水(優), 判治【名大】, 杉山【日本ピーエス】, 鷺見, 永富【八千代エンジ】, 園部【JIP】, 長谷川【セントラルC】, 長谷部【長谷部応力研】, 畑佐【興栄C】, 花輪【日本鉄塔】, 平野, 山田(尚)【日車】, 前田【共和電業】, 水野【サンワ】, 宮崎【デーロス】

以上 50 名(敬称略)

<総会議事>

1. 館石代表挨拶

- ・館石代表の挨拶がなされた。

2. H27 年度活動報告

- ・前年度活動（定期研究会、見学会、臨時総会）について報告された。

3. 研究委員会中間報告, 会計報告

- ・前年度活動を開始した 2 つの研究委員会（LRFR 研究委員会、最新技術・情報調査研究委員会）の各代表より、中間報告および会計報告がなされた。

4. H27 年度総括会計報告

- ・会計監査 川西幹事より前年度会計監査の報告がなされた。

⇒出席会員の過半数以上の拍手により、両研究委員会の年度を跨ぐ活動継続および会計報告、SGST 本会の会計報告について承認された。

5. H28 年度幹事紹介

- ・前年度より幹事を継続することが報告された。

6. 新規会員紹介

- ・前年度から総会までに入会された特別会員および正会員が紹介された。

7. H28 年度活動計画

- ・H28 年度の活動予定を発表された。

以上

平成 28 年度 SGST 第 2 回幹事会 議事録

日時 : 平成 28 年 6 月 29 日(水) 15:15~15:45

場所 : 名城大学 天白キャンパス 研究実験棟Ⅱ 多目的室

出席者: 館石(名大), 松村・櫻井(瀧上), 川瀬(日中 C), 長瀬(日車), 加藤(中日本 H), 北根(名大), 鈴木(愛工大), 岡本(橋梁調査会)

以上 9 名(敬称略)

< 幹事会議事内容 >

1. シンポジウムについて

・ 前回幹事会以降の動き

6/8 (水) : シンポジウム実行委員幹事会において詳細を決定した。(詳細は議事録参照)

6/16 (木) : 上記の討議結果を元に作成したリーフレットを会員・他団体に送付した。

基調講演、論文作成、パネリスト依頼状を関係者に送付し正式に依頼した。

・ 主な内容

タイトル : 『中部地方の橋をどう守るかを考えるシンポジウム』

+ 「N2U-BRIDGE を活用した最新(点検)技術のデモンストレーション」

詳細 : リーフレットを参照。

広告料 : 5,000 円/A4 1P

謝 礼 : 基本的には SGST の規定に従い、浜松市 山本様と岐阜県 滝様にはご入会頂
く前提で設定した。

○ 講演費

坂野先生 2 万円、~~館石先生 1 万円~~、葛西先生 1 万円、山本様 1 万円、
滝様 1 万円 計 5 万円

○ 交通費

坂野先生 1.5 万円、葛西先生 6.5 万円、山本様 1.5 万円、滝様 0.2 万円

○ 宿泊費

葛西先生 1 万円、山本様 (本人に確認)

計 9.7 万円

⇒ 館石先生の講演費を葛西先生の宿泊費に充当する。

・ 概算収支

収入

+ 95,000 円 広告費 (特別会員 19 社×5,000 円)

+ 60,000 円 正会員 (60 名×1,000 円)

+ 40,000 円 一般 (20 名×2,000 円)

+ 0 円 学 生

+ 200,000 円 懇親会費 (50 名×4,000 円)

計 395,000 円

支出

| | | |
|---|-----------|--|
| － | 0 円 | N2U-BRIDGE 使用料 (館石代表より無料打診) ⇒ 無料で承諾頂いた |
| － | 37,149 円 | シンポジウム会場費 (14.5h×2,562 円) |
| － | 30,000 円 | 雑費 |
| － | 200,000 円 | 懇親会費 (50 名×4,000 円) |
| － | 200,000 円 | テキスト印刷代 |
| － | 50,000 円 | 講演費 |
| － | 97,000 円 | 交通費 |
| － | 10,000 円 | 宿泊費 |
| 計 | 624,149 円 | |

収支合計

－ 229,149 円

→マイナス収支であるため、来年度会員増加により挽回する。

・その他討議事項

日本材料学会 東海支部に後援頂けることが決まった。その折、学会員が参加した場合の特典を要望された。特典をつけるのであれば、「SGST にご入会頂く際の初年度年会費を 2,000 円 (通常 3,000) 円) にする」or「シンポジウムへの参加費を SGST 会員と同様に 1,000 円にする」などが考えられる。特典をつける場合は、SGST 会員が材料学会のイベントに参加した際にも同様の要求をしたい。

⇒ 材料学会の会員で SGST への入会を確約された場合は、参加費を会員価格とする。

・今後の予定

7/9 (土) 最新技術デモンストレーション応募者対象 N2U-BRIDGE 下見会

7/15 (金) 基調論文提出期限→提出された論文から順次査読開始

⇒パワーポイントでも OK とする。

⇒印刷業者に期限を遅らせることができないか打診する。

7/25 週 論文集最終案にて作成依頼 (当日配布するためには7月中に最終案が必要)

8/18 (木) 会場設営

⇒シンポジウム会場前の使用については、館石先生から打診して頂く。

2. 山田先生翻訳本出版イベントについて

山田健太郎先生の翻訳本「鋼橋 鋼橋および合成桁の概念と設計」が出版された。これについて SGST 主催の出版イベント? を依頼された。8 月はシンポジウムが決定しているため、開催できるのは早くても 10 月になる。

10 月研究会担当幹事の渡辺先生からは、既に講師・テーマ案を次頁の通り頂いている。

講演者：株式会社 ワイ・シー・イー 大阪事務所 技術部

羽子岡 爾朗 氏

講演タイトル：鋼橋の腐食・き裂等損傷事例の紹介と補修・補強の着目点について

講演の内容：1. 既設の橋梁から得られる情報について

2. 腐食損傷事例を紹介して、その補修設計の考え方

①海岸部近くのアーチ橋の腐食損傷と補修設計

②継手部の腐食による孔食と減肉に対する補修設計

③鋼橋の拡幅後のき裂と補修・補強設計

④ランガー桁の耐震補強部のき裂とブラケットのき裂

⇒10月の定期研究会は、山田先生の出版イベントとする。日時は、館石先生から山田先生にスケジュールを確認して頂き決定する。12月は川西先生と相談の上、方針を決定する。

3. 伊藤學賞・技術功労賞について

例年同様、橋建協より伊藤學賞・技術功労賞の推薦依頼があった。伊藤學賞については、昨年から引き続き元瀧上工業(株)の高木録郎様を推薦する方針としてよいか。また、技術功労賞について、推薦候補案があれば意見をお願いする。

⇒幹事として高木録郎様を推薦で決定する。松村幹事長より本人に確認して頂く。

4. 今後の活動予定について

・第3回定期研究会【シンポジウム】

日時：8月19日(金)

詳細：上記1. の通り

・第4回定期研究会

日時：10月21日(金)16:00～ ⇒10/20, 21が建設技術フェア

場所：名城大学 天白校舎 研究室実験棟Ⅱ 多目的室

研究会担当幹事：渡辺先生

詳細：上記2. の通り

・第5回定期研究会

日時：12月12日(月)16:00～

場所：名城大学 天白校舎 研究室実験棟Ⅱ 多目的室

研究会担当幹事：川西先生

講演内容：未定

忘年会：場所未定

・第6回定期研究会

日時：2月24日(金)16:00～

場所：名城大学 天白校舎 研究室実験棟Ⅱ 多目的室

研究会担当幹事：北根先生

講演内容：未定

5. 新規会員の紹介

1) 特別会員

- ・(株)計測リサーチコンサルタント（特別会員代表：柏森様）

2) 正会員

- ・前田 芳巳様（(株)共和電業）
- ・坂本 貴大様（セントラルコンサルタント(株)）
- ・塚本 純平様（日之出水道機器(株)）
- ・石橋 伸太良（日本ペイント(株)）

6. H28年度 第2回定期研究会について

研究会担当幹事：鈴木先生

講演内容①：「鋼・コンクリート接合部の解析的研究」

講演者：宗本先生（愛知工業大学）

講演内容②：「熊本地震の断層近傍の橋梁に対する地震力と崩壊メカニズムの一考察」

講演者：野中教授（名古屋工業大学）

講演会場：名城大学 研究実験棟Ⅱ 多目的室

以 上

平成 28 年度 SGST 第 3 回幹事会 議事録

日時 : 平成 28 年 8 月 18 日(木) 17:00~18:00

場所 : 名古屋大学 工学部 1 号館 2 階 121 号室

出席者 : 松村・櫻井(瀧上), 川瀬(日中 C), 長瀬(日車), 加藤(中日本 H), 北根(名大),
木下(岐阜大), 鈴木(愛工大), 渡辺(名城大), 岡本(橋梁調査会)

以上 10 名(敬称略)

< 幹事会議事内容 >

1. 山田先生翻訳本出版イベントについて

タイトル : ヨーロッパの鋼橋の動向 (案)

日 時 : 10 月 24 日 (月) 14 : 00~17 : 00

場 所 : 未定 (名古屋大学 or 名城大学)

→ 渡辺先生に名城大学 研究実験棟Ⅱ 多目的室を予約して頂いた。

想定人数 : 60 人程度

会 費 : 1 万円 (テキスト代込)

プログラム :

14 : 00~14 : 40 山田健太郎先生

「鋼橋」、スイス工科大学ローザンヌ、スイスの鋼橋の紹介 (仮)

14 : 40~15 : 40 講演①牧田通様 (NEXCO 中日本、スイスで学位、コンクリート) (案)

15 : 40~15 : 50 休憩

15 : 50~16 : 50 講演②未定

討議事項

- ・テキストを既に購入済みの方の会費

テキストを既に購入されている方の参加費は無料とする。

→ 当日購入しない参加者が多くなるのが懸念されるため、参加費は 1,000 円とする。

- ・講演② (欧州の橋梁事情について) お話し頂ける講師候補

→ 幹事団からは名城大学 小塩先生を推薦する。

山田先生に確認後、小塩先生に依頼する。

2. 今後の定期研究会について

第 4 回 (10 月) 定期研究会が山田健太郎先生の出版イベントに決定したため、第 5 回 (12 月) と第 6 回 (2 月) の研究会担当幹事の変更について討議する。

- ・スライド案

第 4 回 (10 月) 定期研究会担当幹事 渡辺先生 → 第 5 回 (12/12) 定期研究会担当

第 5 回 (12 月) 定期研究会担当幹事 川西先生 → 第 6 回 (2/24) 定期研究会担当

第 6 回 (2 月) 定期研究会担当幹事 北根先生 → 来年度 4 月定期研究会担当

3. 今後の活動予定について

・第4回定期研究会

詳細：1. の通り

幹事会 13:00～ 名城大学 天白キャンパス 研究実験棟Ⅱ 多目的室

各研究委員会は開催日時を調整する。

→ LRFR 研究委員会を当日 10:00～12:00 に同会場にて開催する。

最新技術・情報調査研究委員会は別途特別会を開催することで10月は休会とする。

・第5回定期研究会

日時：12月12日(月)16:00～

場所：名城大学 天白校舎 研究室実験棟Ⅱ 多目的室

研究会担当幹事：川西先生→渡辺先生

講師候補：(株)ワイ・シー・イー 大阪事務所 技術部 ^{はねおか}羽子岡 ^{じろう}爾朗氏

講演内容：鋼橋の腐食・き裂等損傷事例の紹介と補修・補強の着目点について
忘年会：場所未定

→ 講師を羽子岡氏のみとするか、2人とするか次回幹事会にて決定する。

・第6回定期研究会

日時：2月24日(金)16:00～

場所：名城大学 天白校舎 研究室実験棟Ⅱ 多目的室

研究会担当幹事：北根先生→川西先生

講師：未定

講演内容：未定

5. 新規会員の紹介

デモンストレーション、技術紹介展示をされる会社の方々（次回詳細紹介）

6. H28年度 第3回定期研究会について

「中部地方の橋をどう守るかを考えるシンポジウム」

・第1部 最新技術のデモンストレーション

会場：名古屋大学 N2U-BRIDGE

・第2部 シンポジウム

会場：名古屋大学 工学部1号館2階 121号室

以 上

平成 28 年度 SGST 第 4 回幹事会 議事次第

日時 : 平成 28 年 10 月 24 日(月) 13:00~13:45

場所 : 名城大学 天白キャンパス 研究実験棟Ⅱ 多目的室

出席者: 館石(名大), 松村・櫻井(瀧上), 川瀬(日中 C), 長瀬(日車), 加藤(中日本 H), 北根(名大),
川西(豊田高専), 木下(岐阜大), 岡本 (橋梁調査会)

以上 10 名(敬称略)

<幹事会議事内容>

1. 8/19 開催 「中部地方の橋をどう守るかを考えるシンポジウム+N2U-BRIDGE を活用した最新技術のデモンストレーション」の報告

※別途資料による。参加人数、会計報告のこと。

参加人数: 計 216 名

収 入: +803,000 円

支 出: -867,098 円

収 支: -64,098 円

⇒ 参加費・広告費未払いについては請求書を岡本委員会幹事から送付して頂く。

※幹事各位は、反省点を口頭報告のこと。次回、SGST40 周年記念シンポなどに生かす。

⇒ シンポジウム実行委員より反省点や参加者、出展者の声など意見があった。

2. 今後の活動予定について

- ・ SGST 推薦により 10/14 に H28 年度日本橋梁建設協会「伊藤學賞」を受賞された高木録郎氏 (元瀧上工業社長) について、下記のどちらかの日程の前座講演として提案したい。

受賞された高木氏より「SGST に推薦頂いたので、ご提案された場合は対応する」と幹事長 (松村) に連絡あり。時間は 35 分+10 分=45 分の講演 (質疑)。

⇒ 高木録郎氏の講演は下記の通り第 5 回定期研究会にて行うものとして打診する。

同回講演予定の羽子岡氏には渡辺先生より時間の調整について確認する。

- ・ 第 5 回定期研究会

日時: 12 月 12 日(月)16:00~

場所: 名城大学 天白校舎 研究室実験棟Ⅱ 多目的室

研究会担当幹事: 川西先生→渡辺先生

○16:00~17:00

講師: 榊ワイ・シー・イー 大阪事務所 技術部 羽子岡 爾朗氏

講演内容: 鋼橋の腐食・き裂等損傷事例の紹介と補修・補強の着目点について

○17:00~17:30

講師: 高木録郎氏 (元瀧上工業株式会社)

講演内容: 橋梁人生と技術者の育成 (仮)

忘年会: 場所未定

・第6回定期研究会

日時：2月24日(金)16:00～

場所：名城大学 天白校舎 研究室実験棟Ⅱ 多目的室

研究会担当幹事：北根先生→川西先生

講師：宇都宮大学 中島教授 又は藤倉准教授

講演内容：未定

・平成29年4月第一回定期研究会・総会

日時、場所（未定）

研究会幹事担当：北根先生

講師、内容：未定

⇒ 幹事会から特に候補者がいないため次回の幹事会までに候補をあげる。

3. 新規会員の紹介

8/19 シンポジウムデモンストレーション技術紹介含め、正会員15名、特別会員1社

※正会員（個人会員）

- ・宗本 理先生（愛知工業大学）
- ・中山 卓（たかし）様（株式会社シーエス・インスペクター）
- ・前田 真平様（大日本塗料株式会社）
- ・丹下 裕之様（株式会社トーカイスパイラル）
- ・森下 陽介様（株式会社トーカイスパイラル）
- ・山田 不二彦様（京橋メンテック株式会社）
- ・高島 達行様（株式会社エバープロテクト）
- ・高瀬 宗丈様（興和工業所株式会社）
- ・岡田 幸夫様（BASF ジャパン株式会社建設化学品事業部東海エリア）
- ・福島 和将様（BASF ジャパン株式会社建設化学品事業部テクニカルソリューションズ）
- ・林 政信様（矢作建設工業株式会社）
- ・藤井 誠様（株式会社谷沢製作所） ※8/16mail 手続き書類／要確認
- ・吉田 敏治様（株式会社コーメイ 代表取締役）
- ・鈴木 健吾様（株式会社フジヤマ）
- ・水野 裕太様（株式会社ケミカル工事 名古屋支店）

※特別会員（第1種法人会員）

- ・日之出水道機器株式会社（個人会員支払済の方には返金のこと）

4. 本日の第4回定期研究会（特別会）について

タイトル：ヨーロッパの鋼橋の動向（案）

日時：10月24日（月）14:00～17:30

場所：名城大学 天白キャンパス 研究実験棟Ⅱ 多目的室

研究会幹事担当（司会）：舘石 SGST 代表

会費：

テキスト購入の SGST 会員 ¥10,000（テキスト代込）

テキスト持参の SGST 会員 ¥1,000

テキスト購入の一般 ¥11,000 (テキスト代込)

テキスト持参の一般 ¥2,000

プログラム :

14 : 00~14 : 50 「鋼橋」の翻訳出版の報告とスイスの鋼橋

中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋(株) 山田健太郎様

14 : 50~16 : 00 ①スイスの著名な技術者とコンクリート橋、②超高性能繊維補強セメント系複合材料 (UHPFRC) を用いた橋梁の補修・補強

中日本高速道路(株) 牧田通様

16 : 00~17 : 30 Izmit Bay Bridge とヨーロッパの長大橋

(株)IHI インフラシステム 山崎康嗣様

※懇親会 : 18 : 30~ (場所 : 豚焼き 田)

以 上

平成 28 年度 SGST 第 5 回幹事会 議事録 (案)

日時 : 平成 28 年 12 月 12 日(月) 15:15~15:45

場所 : 名城大学 天白キャンパス 研究実験棟Ⅱ 多目的室

出席者 : 館石(名大), 松村(瀧上), 川瀬(日中 C), 長瀬(日車), 加藤(中日本 H), 北根(名大), 木下(岐阜大), 渡辺(名城大)

以上 8 名(敬称略)

< 幹事会議事内容 >

1. 今後の活動予定について

・ 第 6 回定期研究会

日時 : 2 月 24 日(金)16 : 00~

場所 : 名城大学 天白校舎 研究室実験棟Ⅱ 多目的室

研究会担当幹事 : 川西先生

講師 : 宇都宮大学 中島教授 又は藤倉准教授

講演内容 : 未定

⇒ H29.1 初旬の中島先生の回答を頂くことで川西先生に調整頂くことで決議。

・ 平成 29 年 4 月第 1 回定期研究会・総会

日時、場所 (未定のため決定のこと)

研究会幹事担当 : 北根先生

講師、内容 : 未定

⇒ 北根先生より、広島大学 藤井堅教授「腐食した鋼構造物の耐荷力と補修・補強および RAMS の活動について (仮)」の提案があった。北根先生から、藤井先生に 4 月の日程を調整頂くこととなった。その他、「ブラストに関する技術的課題と最新技術動向」、「耐候性鋼橋の維持管理について」の提案については、今後に見送る。

H29.4 月の総会会場 (取り急ぎ名城大) は予約が取れる時点になったら、上記を踏まえ渡辺先生で調整。

2. 平成 29 年度からの新役員について

・ 平成 27~28 年度の現幹事は平成 28 年 3 月末にて任期を終えることとなります。平成 29 年 4 月の総会において、旧役員と新役員の交代の承認決議を行い新体制がはじまります。

つきましては、運営側の幹事 (代表、幹事長、事務局、会計、HP、企画) については、候補者をご推薦ください。研究会幹事の皆さんにおかれましては、交代する場合は新幹事の推薦と意向 (やって頂けるのか) の確認をお願いします。

・ 過去においては、2 年の任期終了後、代表と幹事長 (事務局) は基本的に交代。会計幹事と HP 幹事の入れ替え、事務局長が企画幹事へ異動が通例になっておりました。

・ 次回幹事会 H29.2/24 において、引き継ぎ候補者との幹事会を実施したいと思います。

⇒ ・ 館石代表より、小畑教授 (名工大) の新代表の推薦があった。幹事長+事務局は日本車両殿で検討頂く。会計 (中日本 H)、HP (日中 C)、企画 (瀧上) については、候補各社で検討頂くこととなった。

・ 研究会幹事は、北根先生より判治先生 (名大) の推薦があった。木下先生 (岐阜大)、渡辺先生 (名城大) は継続予定。欠席の委員会幹事の先生には事務局より確認をする。

・幹事の交代は H29.1 月中旬までに事務局に連絡し、H29.2/24 の幹事会で引継ぎを行う。なお、H29.4 総会の日程は、北根先生より小畑先生と藤井先生の日程を調整頂く（H29.1 月中旬を目途）。

3. 本日の第 5 回定期研究会について

日 時：12 月 12 日（月）16：00～17：30

場 所：名城大学 天白キャンパス 研究実験棟Ⅱ 多目的室

研究会幹事担当（司会）： 渡辺先生

プログラム：

16：00～17：00 鋼橋の腐食・亀裂等損傷事例の紹介と補修・補強の着目点について
（株）ワイ・シー・イー 大阪事務所 技術部 羽子岡 爾朗氏

17：00～17：30 橋梁人生と技術者の育成
伊藤學賞受賞 （株）HEART 代表 高木 録郎氏（元瀧上工業社長）

以 上

平成 28 年度 SGST 第 6 回幹事会 議事録

日時 : 平成 29 年 2 月 24 日(金) 15:15~15:45

場所 : 名城大学 天白キャンパス 研究実験棟Ⅱ 多目的室

出席者 : 館石(名大), 小畑(名工大), 松村(瀧上), 村瀬・中村・長瀬(日車), 西嶋・大塚
(宇野重工), 川瀬(日中 C), 加藤(中日本 H), 北根・判治(名大), 川西(豊田高専), 木下
(岐阜大), 渡辺(名城大), 岡本(橋梁調査会)

以上 16 名(敬称略)

< 幹事会議事内容 >

1. 平成 29 年度幹事団の体制について

下記の幹事団メンバーを予定する。(敬称略)

代 表 : 館石 和雄 名古屋大学 大学院工学研究科 社会基盤工学専攻 (常任理事)

→小畑 誠 名古屋工業大学 社会工学専攻 環境都市分野

幹事長 : 松村 寿男 瀧上工業(株) 技術開発グループ (常任理事)

→村瀬 孝典 日本車輛製造(株) 輸機・インフラ本部 技術部 技術第三グループ

事務局 : 櫻井 勇太 瀧上工業(株) 技術開発グループ

→中村 信哉 日本車輛製造(株)輸機・インフラ本部 技術部 技術第三グループ

企 画 : 長瀬 雅司 日本車輛製造(株) 輸機・インフラ本部 品質保証部 品証二課

→櫻井 勇太 瀧上工業(株) 技術開発グループ

→西嶋 善幸, 大塚 慎也 宇野重工(株) 建設部

H P : 加藤 正実 中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋(株) 技術開発部

会 計 : 川瀬 瞳 日中コンサルタント(株) 名古屋支店

研究会 : 海老澤健正 名古屋工業大学 社会工学専攻 環境都市分野

川西 直樹 豊田工業高等専門学校 環境都市工学科

木下 幸治 岐阜大学 工学部 社会基盤工学科

鈴木 森晶 愛知工業大学 工学部 土木工学科

北根 安雄 名古屋大学 大学院工学研究科 社会基盤工学専攻

→判治 剛 名古屋大学 大学院工学研究科 社会基盤工学専攻

渡辺 孝一 名城大学 理工学部 社会基盤デザイン工学科

会計監査 : 幹事会にて決議とする。

2. 平成 29 年度 SGST 活動計画

平成 29 年度定期研究会開催スケジュール、会場を選定する。

・スケジュール (予定)

4 月 14 日(金) (総会)、6 月 16 日(金)、8 月 25 日(金)、10 月 13 日(金)、12 月 15 日(金)、
2 月 16 日(金)

・会場

来年度第 1 回は、今年度と同様に名城大学天白校舎 研究室実験棟Ⅱ多目的室を使用さ
せて頂く。第 2 回以降は新幹事団にて審議とする。

3. 活動予定について

- ・平成 29 年 4 月第 1 回定期研究会、総会（15：30～）
日時：4 月 14 日（金）16：00～17：30
場所：名城大学 天白キャンパス 研究実験棟Ⅱ 多目的室
研究会担当幹事（司会）：北根先生，判治先生(欠)
プログラム：「九州における道路橋の建設・維持管理に関する最近の話題」
講演者：九州大学 大学院工学研究院 社会基盤部門 日野伸一 教授
- ・第 2 回以降の定期研究会日程および各研究会担当幹事は、新幹事団にて決定する。
→6 月の講師は、広島大学 藤井堅教授にご依頼する方針で調整する。
6 月研究会担当幹事：北根先生、判治先生

4. 新規会員の紹介

一般会員

- ・篠原 一輝様（オリエンタルコンサルタンツ株）

特別会員

- ・宇野重工株（代表：宇佐美様）
- ・住友理工株（代表：中村様）
- ・日綜産業株（代表：長井様）

5. 新幹事団への申し送り事項

- ・名誉会員について
名誉会員は、「本会および構造物に関する功績が特に顕著であって、本会の総会において推挙された者」（会費免除）との会員規定がある。該当会員から申し出があった場合は、本規定により幹事会にて審議頂きたい。
- ・学生会員について
学生会員規定は、今年度幹事会において審議できなかった。規定の必要、不要を含め新幹事団にて審議頂きたい。
- ・研究委員会について
現在活動している研究委員会は、「最新技術・情報調査研究委員会」と「AASHTO Load & Resistance Factor Rating (LRFR) 研究委員会」の 2 つである。研究委員会の活動期間は 2 年間であり、平成 29 年 10 月に満期となる。それぞれの研究委員会の活動成果として報告書の作成および発表の場として、10 月もしくは 12 月の定期研究会を研究委員会活動報告会として頂きたい。中間発表は 4 月の総会にて行う。
新しい研究委員会も募集して頂きたい。
- ・40 周年記念式典について
平成 30 年（新幹事団 2 年目）に SGST 発足 40 周年を迎える。平成 25 年には 35 周年記念シンポジウムが開催された。40 周年記念式典の企画が難しい場合は、45 周年記念式典を開催することとし、幹事引継ぎの際は申し送り事項とする。
- ・ブリッジコンペティション 2017 の後援について
今年 8/31～9/1 にジャパンスティールブリッジコンペティション 2017 が岐阜大学にて開催予定であり、木下幹事より後援のお願いがあった。新幹事にて審議頂きたい。

6. 平成 28 年度 SGST 活動報告集について

例年は年度最終の幹事会において活動報告周の内容をご確認頂くが、今年度は作成が完了していないため、3 月上旬までに幹事会にデータを配信する。3 月中旬までに内容をご確認頂き、4 月に配布できるよう作成を進める。

館石代表には昨年度と同様に代表の挨拶をご執筆頂く。

7. 平成 28 年度会計報告について

活動報告集と同様に、3 月中旬までに幹事会にご確認頂き、会計監査 川西幹事の承認の上、4 月の総会にて会計報告とする。

8. 本日の第 6 回定期研究会について

日時：2 月 24 日（金）16：00～17：30

場所：名城大学 天白キャンパス 研究実験棟Ⅱ 多目的室

研究会担当幹事（司会）：川西先生

プログラム：「鋼コンクリート複合構造のずれ止め」

講演者：宇都宮大学 地域デザイン科学部 社会基盤デザイン学科

中島章典 教授

懇親会：春夏秋冬（名鉄レジャックビル 5F） 18：30～

以 上